

第70回 大阪市廃棄物減量等推進審議会 会議要旨

1 日 時 令和7年3月17日(月)14時00分から15時55分まで

2 場 所 大阪市環境局 第1、第2会議室

3 出席者

(委員)

原会長、野村副会長、大久保委員*、川瀬委員、小島委員*、越村委員、柴田委員、島田委員*、早川委員、林委員*、福光委員、松本委員*

(大阪市)

堀井環境局長、井原環境局理事兼エネルギー政策室長、川島総務部長、岡本事業部長、上原家庭ごみ減量課長、吉村事業管理課長、楠本路上喫煙対策担当課長、東岡一般廃棄物指導課長、川戸企画課長、山下環境施策課長、小玉家庭ごみ減量課長代理(司会)

(大阪広域環境施設組合)

松井事務局長、中村施設部長

※ウェブ会議方式による参加(5名)

4 議 題

新たな「大阪市一般廃棄物処理基本計画」の素案について

5 議事要旨

(1) 大阪市から資料に基づき、新たな「大阪市一般廃棄物処理基本計画」の素案について説明を行った。

(2) 委員からの意見等概要

ア データに基づいた政策の検討、立案、効果分析が重要であり、より精度の高いデータにより、現状を正しく理解していくことが大事である。

イ 質の高い分別・リサイクルの推進に向け、どの程度の汚れまでがリサイクルに適するののか、専門的な知識がない方にも分かりやすい啓発をしていただきたい。

ウ リデュース、リサイクルに比べ、リユースの打ち出しが弱いように感じる。ごみを発生させないという意味からリユースも大事である。

エ 部局間の連携は重要であり、相互メリットを活かし政策効果を高めるという観点で連携してもらいたい。

オ 排出量削減には行動変容が重要であるが、行動変容に結びつけるのには時間が必要となる。早めの分析、評価をしていくという姿勢が大事である。

6 会議資料

- ・第70回 大阪市廃棄物減量等推進審議会資料
- ・大阪市一般廃棄物処理基本計画(素案)